

福島イノベーション・コースト構想推進分科会

# この地域の 100年後のために

---

一般社団法人ならはみらい 西崎芽衣

(福島イノベーション・コースト構想推進分科会委員)

## 地域とわたし



### 一人の住民として

楢葉町と関わり始めて14年。

暮らし始めて8年。

地域のひとと共に、

地域の日々の変化を見てきました。

現在は5歳と3歳のこどもの母です。



### まちづくり会社職員

設立当初は「復興・生活再建」に

直結する業務からスタート。

現在は、地域のアクションを支える

「地域主体のまちづくり」の実現を

目指しています。

### 福島イノベーション・コースト構想推進分科会委員として



福島県の未来を支えるこの構想が、

この地域に暮らす“ひと”、未来を生きる“ひと”と共にあってほしい

という想いで関わらせていただいています。

ならはみらいのビジョン

# 想いとアクションから 物語が生まれ続けていくまちへ

- このまちの誰もが想いを持ち、**まちをつくる主人公**
- 一人ひとりが**考え抜き、判断し、**アクションを重ねる**
- 自分たちのまちを、自分たちでつくる**

色々な物語や役割がある地域は、きっと面白い。

不便さや人口減少の中でもそれぞれが納得して暮らせる地域に。

# 事業全体像



進出・立地企業間の交流  
(課題共有ワークショップ)



子育て世代との繋がりづくり



ふるさと納税  
寄付管理・返礼品提案



商業・交流施設の管理・運営

## 事業紹介①

# 地域活動相談窓口

## 地域の「やってみたい」の伴走者

「自分の暮らす町を変えたい、もっと良くしたい」

その“想い”が形となり、**継続できるように。**

一歩先を見据えて一緒に本気で考える。

### ■相談内容(例)

- ・ 行政区長：新たな担い手づくり、継続に向けた予算計画
- ・ 地域サークル：人や団体の紹介、広報手段のアドバイス
- ・ 県外の学生：地域のニーズとのすり合わせ



## 事業紹介②

# ならは百年祭



100年後を見据えることで

“被災地”から一步、前に。

これまでたくさんのひとやお金が  
この地域の復興を支えてくださりました。

しかしそれらに依存せず、自分たちと地域の力で  
まちをつくることの重要性に気づきました。

しかしそのためには、長い時間をかけて  
地域からの理解を一つひとつ重ねて行く必要があります

# 構想と暮らしの距離感

## イノベーション・コースト構想

巨大な技術開発

遠い未来

国家プロジェクトとして導く

ギャップ



規模感

時間

軸

## 地域の暮らし

目の前の切実な課題

今・現在

自分達の暮らしたいまちをつくる

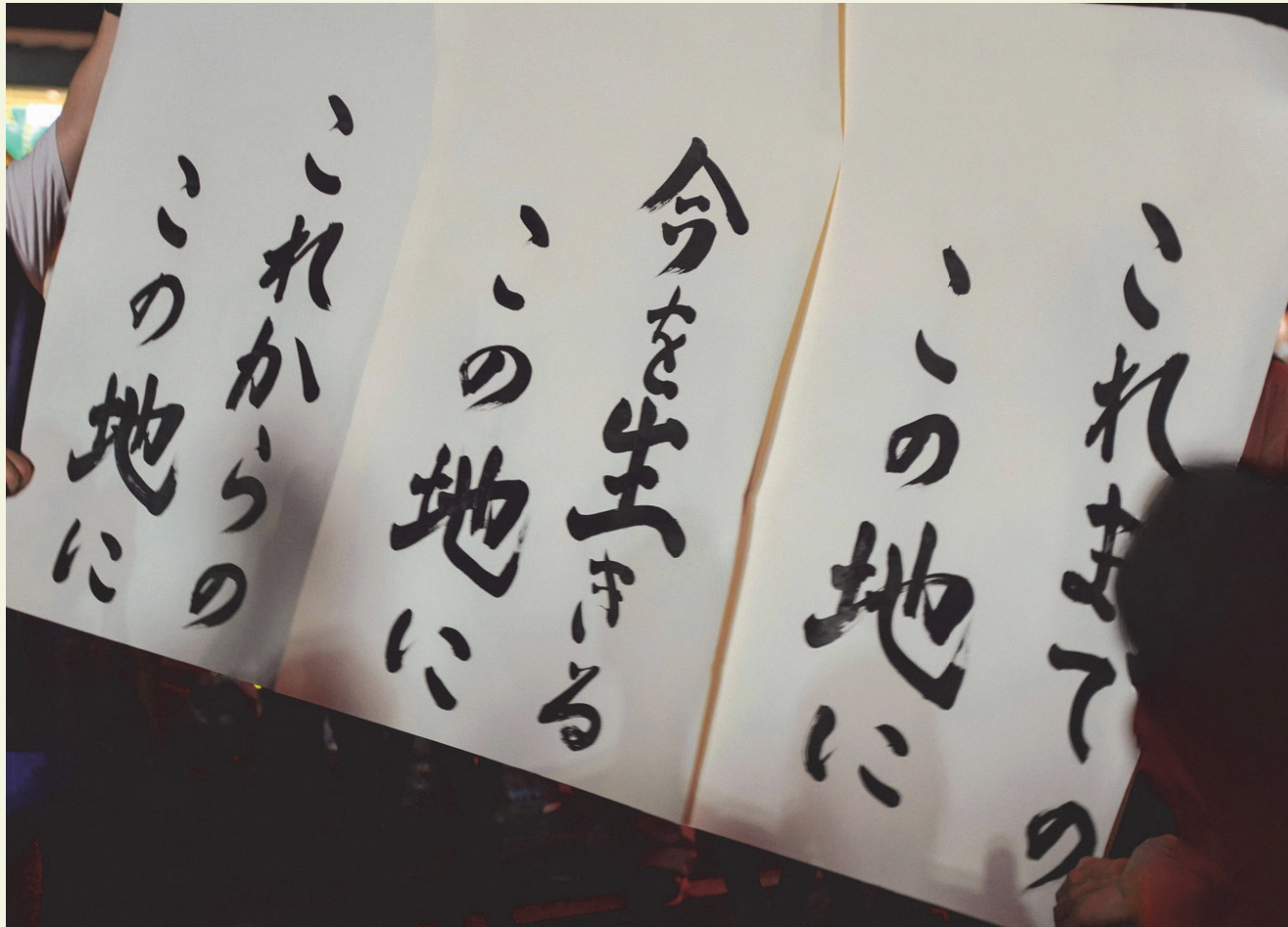
## イノベ構想の担い手

イノベ構想の土壌となるのは、**地域住民の存在。**

100年先を考え、ひとの思いがのった「物語」を。



ご清聴ありがとうございました。



ならば百年祭「<sup>じがため</sup>地固締め」口上